



# 山桜

高階西中だより第16号

平成28年12月22日

川越市立高階西中学校

## 「ありがとう」という言葉を考える

～自分の周りにあるたくさんの有り難いことを見つめる～

校長 長井正邦

一年の終わりを迎えました。今日は「ありがとう」という言葉について考えてみたいと思います。「ありがとうの反対の言葉は何だと思いますか」と聞かれたら、皆さんはなんと答えますか。

「どういたしまして」「ごめんなさい」「ありがたくない」…。

「ありがとう」という言葉は、漢字の「有り難い」から来ているという考え方によると、「ありがとう」を反対の視点は「あたりまえ（当たり前）」だそうです。

私たちは日頃の生活を送るなかで、たくさんの事を当たり前として、過ごしてしまっています。例えば、ご飯を食べること、暖かい布団に入って寝ること、仲間がいること、家族がいることなど、すべてが当たり前で、特別な事とは、なかなか思うことが出来なくなってしまっていることはないでしょうか。そして、今こうして生きていることさえも当たり前になってしまっていないでしょうか。

一年が終わるこの時期に、それらが当たり前ではないことを改めて考える時間をとってみてください。

有り難いことを、当たり前と思って過ごしてばかりいると、幸せが当たり前となり、幸せの中にながら、幸せを感じる心のアンテナがだんだんと鈍くなってしまいかもしれません。それは人間にとって一番不幸なことです。

有り難いことを当たり前としか受け取ることができなくなっている自分に気付き、今自分の周りにあるたくさんの有り難いことを、しっかりと見つめて、本当の幸せを感じてほしいと思います。

私自身、二学期を振り返って、まったく当たり前のことなど何一つもなく、生徒の皆さんや保護者の皆さん、地域の皆さん、教職員の皆さん…支えてくださった全ての皆さんと有り難い日々を送らせていただいていたことへ感謝の思いを持って新しい年を迎えていきたいと考えています。

(二学期終業式から)

## 「かけがえのない命」について改めて考える

～「命を育む緊急アピール かけがえのない命を大切に！」～

川越市教育委員会・川越市校長会・川越市PTA連合会では、「命を育む緊急アピール～かけがえのない命を大切に！～」を策定し、配付しました。生徒一人一人のかけがえのない命を、生徒自身・保護者の皆さん・地域の皆さん・教職員がそれぞれの立場や役割で育んでいきましょう。

**校長の宣言**  
 唯一無二の存在である生徒一人一人のよさを認め、励ます教育を一層推進していきます！  
 (生徒一人一人の自尊感情を育むために)

### 保護者及び地域の皆様へ

二学期、本校教育活動の推進に多大なる御理解御協力を賜り、心から御礼申し上げます。また、日頃から「子供たちの健やかな成長のため」に御意見や御感想をお寄せいただいていることにも改めて御礼申し上げます。平成29年も、引き続き温かい御支援をお願い申し上げます。

**一年生代表 女子**

みなさんおはようございます。これから一年生を代表して二学期を振り返りたいと思います。

二学期にはさまざまな行事がありました。「山桜祭」ではそれぞれの体験学習で、普段なかなかできないことを体験することができました。私が体験した「絵手紙」では、絵を描くことの楽しさや、面白さを感じることができました。

合唱コンクールでは、それぞれのクラスが一致団結となって目標に向かってたくさん練習してきました。練習中には大変なこともありましたが、実行委員が中心となって、まとめてくれました。本番では、その成果が発揮できたと思います。来年や再来年は、先輩方のようなきれいな合唱ができるようにしたいです。

そして、先月の終わりに行われた社会体験学習では、事業所ごとに協力して、事前訪問から当日までの計画を立て、事業所の方の迷惑とならないように、しっかり学習してきました。体験中には、働くことの大変さや大切さを感じ取ることができました。

生活面では、一学期よりも忘れ物が少なくなり、時間を見て行動できるようになりました。そのため、集会や移動教室の時に遅れずに行くことができています。しかし、授業中の私語や授業と休み時間の切り替えができていない人がいるので、それらを改善し、よりよい学年を目指して頑張っていきたいです。

**二年生代表 女子**

みなさんおはようございます。二年生を代表して二学期の振り返りを述べたいと思います。

二学期を振り返ってみると、色々なことがめまぐるしく過ぎていった印象です。その中で様々な経験をしてたくさん成長できたと思います。

例えば、合唱コンクールでは、一年生のときは先生に指導していただくことが多く、自主的に行動することがなかなかできませんでした。しかし、二年生になり本番に向けての練習を自分たちで積極的に進めることができるようになりました。学校教育目標「自ら学び考え行動する生徒」に少し近づけたのは、大きな成長だと思います。しかし、合唱コンクールの練習の中でも、私語が多く集中力がないことが課題となりました。それは普段の学校生活での課題でもあります。授業中集中力が続かなかつたり、開始時刻に着席できなかつたりする人もいました。そこで、学級委員会で話し合い、「TIME KEEPERS プロジェクト」を開始しました。授業・給食・帰りの会などの開始時刻までに着席できるように学級委員と班長が呼びかけを行い、できていない人は奉仕活動をするというものです。すると、周りからの声かけが増え、開始時刻に遅刻する人がみるみる減っていききました。やればできるということがわかったので、これからも課題を一つ一つ解決していきたいです。

さて、三学期には修学旅行があります。11月に行われた校外学習では、ほとんどの班が時間を意識した行動をとることができましたが、事前学習の甘さなどからいくつかの課題点もありました。修学旅行を成功させるためには普段の学校生活を正し、しっかりと行っていくことが必要です。まず、授業に集中し、何事にも自主的・積極的な行動を心がけていきたいです。そして、二年生の三学期は、三年生の0学期とも言われています。中堅学年として学校を支えるという自覚をもち、後輩のお手本となれるような努力をしたいと思っています。

**三年生代表 女子**

二学期終業式にあたり、三年生を代表して今学期を振り返りたいと思います。

二学期は私たち三年生にとって、とても充実したものとなりました。二学期最初の大きな行事で中学校最後の合唱コンクールがありました。最後ということもあり、どのクラスもやる気にあふれている人が多かったと思います。しかし、最初のころは朝練に来ない人や遅れてくる人、気が緩んでいる人がたくさんいました。それでも実行委員を中心に、パートリーダーや指揮者、伴奏者も協力して練習を行い、少しずつ一生懸命に取り組む人が増えてきました。残り一週間となってからは、一人一人の意識が高まり、完成に近い合唱にすることができていました。当日は、どのクラスも練習してきた成果を出し切り、素晴らしい合唱をすることができたと思います。

生活面では、受験生ということもあり、一学期に比べて授業に集中する人が多くなりました。その一方で、集中力が続かず私語をしてしまう人や、夜遅くまで勉強したためか、授業中に寝てしまう人がいたようです。三学期はよりよい雰囲気の教室で授業を受けられるようにしていきたいです。

私たちは一年生から家庭学習ノートを使って、短期記憶を長期記憶に変える努力を続けてきました。三回復習すれば短期記憶を長期記憶に変えることができるようです。定期試験の学習計画表「マイプラン」の学習時間もトータルで46時間を超える人が出てきました。試験期間だけでなく、毎朝早く登校して朝勉強をしている人も増えてきたようです。

私立高校入試まであと約一ヵ月、公立高校入試まであと約三ヵ月となりました。それぞれの進路の実現を目指し、みんなで協力して助け合いながら頑張りたいと思います。明日からの冬休みを有効に使い、入試に向けて計画的に勉強しておきましょう。残り少ない中学校生活を有意義なものにするために、様々な場面で仲間と協力していき、これまでの集大成として、一人一人がそれぞれの立派な花を咲かせることができるように頑張っていきます。

**生徒会代表 副会長：女子**

みなさんおはようございます。二学期終業式に当たり、生徒会を代表して今学期を振り返りたいと思います。

今学期一番大きな学校行事は合唱コンクールでした。各クラス、全員で取り組み、絆や団結が深まったのではないのでしょうか。残された行事もお互い協力しあい、良い思い出になるように取り組みましょう。

一年生は、社会体験学習がありました。各事業所で様々なことを学んできたことと思います。そして、次は「働く意義」についてよく考え、新一年生に向けて良い発表になるよう、今後の活動に取り組んでいきましょう。また、自分から積極的に行動する大切さや、社会のマナーも学んだと思います。今後の生活に生かしていきましょう。

二年生は校外学習がありました。そこで川越と上野・浅草の文化の違いや公共施設でのマナーを学ぶことができました。今回学んだことや反省点を二月にある修学旅行の事前学習や当日の行動につなげられるようにしたいです。また、ルール決めなどにも積極的に参加し、充実した修学旅行になるようにします。

三年生は、高校受験を間近に控え、自分の進路が見えてきた人も多いと思います。悔いの残らない進路決定になるよう、体調に気を付けて冬休みを有効に使ってください。

さて、これからの学習についてです。三学期には定期テストが一回しかありません。冬休み中に、しっかりと苦手教科の復習をしておくことが大切だと思います。三学期にいいスタートが切れるようにがんばりましょう。また、一、二年生は冬休みも部活動があります。寒い中ですがここでがんばった分は必ず春につながります。一日も休まず出席できるようにしましょう。

最後に、冬休みはクリスマス・お正月などイベントも多く、生活のリズムを崩しがちです。早寝早起きを心がけ、体調管理をしっかりしましょう。三学期はまとめの時期であるとともに、次年度への準備の時期です。普段の生活をもう一度見直し、それをさらに高めていきましょう。